

## 北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための 広報啓発を推進する決議

北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる最重要課題であり、その解決のためには、一層の世論喚起が不可欠である。特に、若い世代に、拉致問題は過去の出来事ではなく現在進行形の人権侵害かつ犯罪行為であることへの理解促進を図ることが重要である。

本県では、拉致問題を風化させない取組として、高校や大学での拉致問題を考える特別授業、写真展、映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」上映会、ポスター・タペストリー・懸垂幕の掲出などを行っている。

拉致問題担当大臣と文部科学大臣は、令和5年4月に「北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品の活用促進等について（依頼）」を発出し、学校等においてこれまで以上に拉致問題に関する映像作品を活用するよう依頼している。

しかし、拉致問題に対する理解や関心が十分に広がっているとは言えず、拉致問題を知らない若い世代が増えている中、今後、拉致問題の風化が一層進んでいくことが懸念されている。

そのため、本県においても、アニメ「めぐみ」、映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」、「拉致被害者御家族ビデオメッセージ～必ず取り戻す！愛する家族へ～」、拉致問題解説動画「あの日、僕は拉致問題を知った」、電子漫画「母が拉致された時 僕はまだ1歳だった」、拉致問題こども向けパンフレット「たいせつな人をとり戻すために」等の学校等での更なる活用や「北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール」への積極的な参加などを通じて、より一層拉致問題に対する理解を促進していくべきである。

よって神奈川県議会は、行政と一丸となって、北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進し、更なる取組の充実を図っていく。

以上のとおり決議する。

令和 8 年 3 月 2 5 日

神 奈 川 県 議 会